

平成20年 7月23日

問い合わせ先

連絡先：国土交通省自動車交通局
技術安全部整備課 春原 平賀
電話：03-5253-8111（代表）
内線42422 42425
03-5255-8600（直通）

平成19年度 自動車分解整備業実態調査結果の概要について

この度、平成19年度の自動車分解整備業実態調査の調査結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

なお、詳細は国土交通省自動車交通局ホームページ（※）をご参照願います。

※URL http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jidosha_list.html

1. 目的

本調査は、自動車分解整備業の現状及び経営状況等の実態を把握し、同事業に係る行政全般の基礎資料として活用することを目的として毎年実施しているものです。

2. 調査時点

平成19年6月末現在。売上高等については、平成19年6月末に最も近い決算期分。

3. 調査結果の概要（別紙参照）

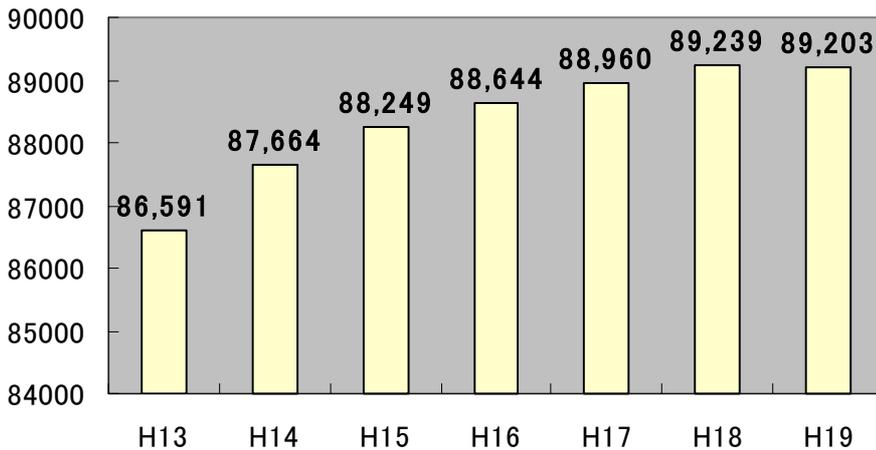
道路運送車両法に規定する自動車分解整備事業者のうち、平成19年6月末現在の全事業場から、業態別・規模別に抽出した1割の事業場を対象として調査を行い、その調査データから全体の数値を算出しています。

(1) 事業場数

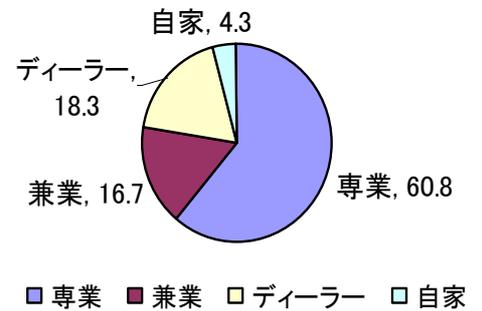
調査時点における事業場数は、89,203事業場で、前年と比較すると36事業場（▲0.04%）の減少となっています。

事業場

事業場数の推移



業態別事業場数の割合



(2) 総整備売上高

総整備売上高は5年連続で対前年度比が増加していましたが、平成19年度の総整備売上高は5兆9,524億円で、前年と比較すると1,421億円(▲2.3%)の減少となっています。

平成15年度以降、4年連続プラスを維持し、売上高回復を牽引していたディーラーが前年度比6.6%と大幅な減少に転じ、その他業態は前年度比プラスを維持したものの、ディーラーのマイナスを埋めきれなかった結果となっています。

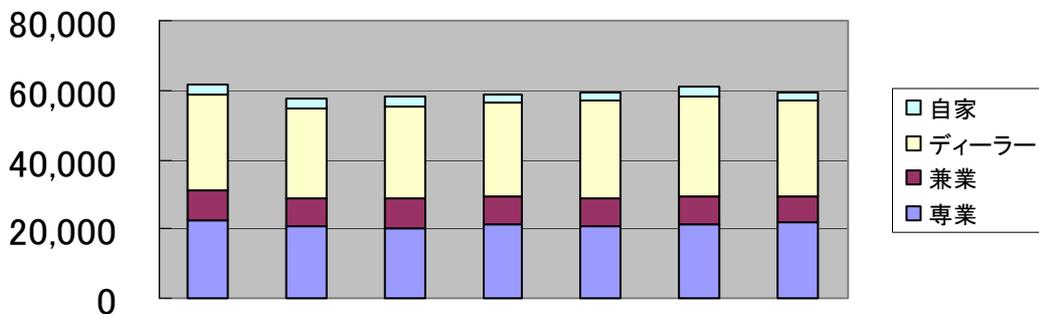
ディーラーの売上高減少については、新車販売台数の減少が要因と推測されます。

作業内容別では、「車検整備」が▲0.8%、「事故整備」が▲9.3%、「その他整備」が▲1.0%となっています。「定期点検整備」は6.3%と増加しました。

売上高の構成比率は、専業・兼業は「車検整備」の割合が高く、ディーラーは「その他整備」の割合が最も高くなっています。

総整備売上高の推移(業態別)

単位: 億円



	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
□ 自家	2,985	2,729	2,493	2,592	2,520	2,559	2,578
□ ディーラー	27,372	25,490	26,781	27,098	28,165	29,289	27,355
■ 兼業	8,819	8,439	8,359	8,158	8,404	7,539	7,997
■ 専業	22,526	20,625	20,352	21,051	20,472	21,558	21,594

作業内容別整備売上高

単位:億円

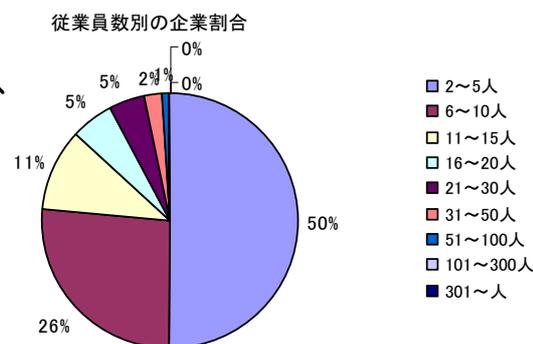
	車検整備	定期点検整備	事故整備	その他整備	合計
専業	9,458 -1.4%	713 14.1%	3,628 -14.6%	7,795 9.9%	21,594 0.2%
兼業	3,303 4.8%	320 36.8%	1,687 6.6%	2,687 4.5%	7,997 6.1%
ディーラー	8,753 -1.7%	1,751 -2.0%	5,799 -10.4%	11,052 -8.9%	27,355 -6.6%
自家	986 -3.6%	133 35.7%	493 -0.4%	966 2.4%	2,578 0.7%
合計	22,500 -0.8%	2,917 6.3%	11,607 -9.3%	22,500 -1.0%	59,524 -2.3%

※下段は対前年増減比(%)を示す。

(3) 整備関係従業員数

整備関係従業員数は549,464人で、前年と比較すると10,066人(1.9%)の増加となっています。

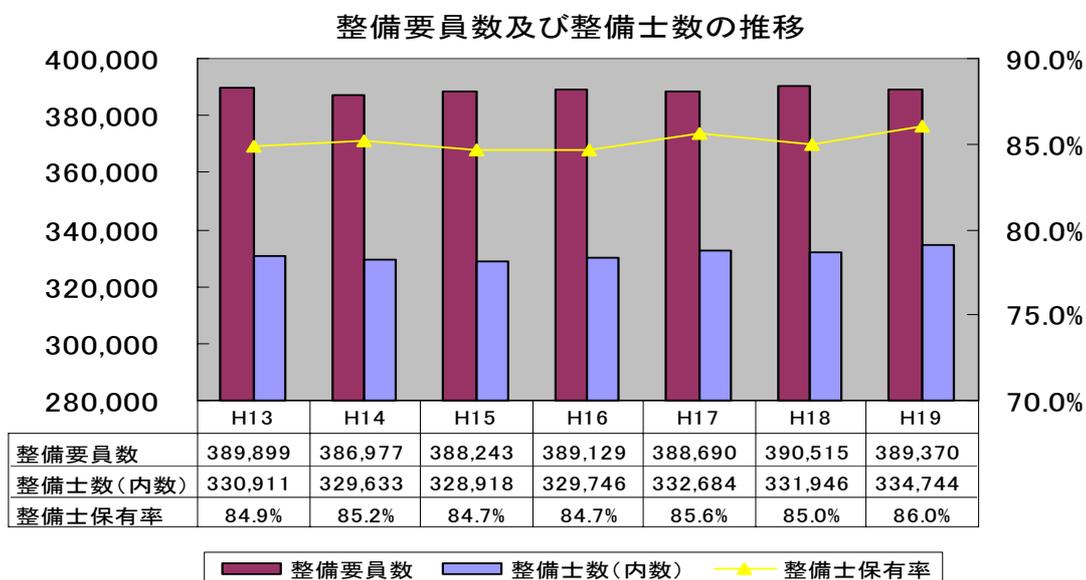
約7割の企業が、10人以下となっています。



(4) 整備要員数及び整備士数

整備要員数は389,370人で、前年と比較すると1,145人(▲0.3%)の減少となっています。うち整備士数については334,744人で、前年と比較すると2,798人(0.8%)の増加となっています。

また、整備要員数に対する整備士数の割合(整備士保有率)は86.0%で前年と比較すると1ポイントの増加となっています。



(5) 整備要員1人当り年間整備売上高

整備要員1人当り年間整備平均売上高（自家除く）は15,400千円で、前年と比較すると2.3%の減少となっています。なお、業態別では以下のとおりです。

専業	11,063千円（対前年比 0.4%増）
兼業	12,888千円（対前年比 5.7%増）
ディーラー	24,308千円（対前年比 6.2%減）

(6) 整備要員平均年齢

整備要員平均年齢（自家除く）は41.4歳で、前年と比較すると0.7歳上昇し、4年連続で40歳代となっており、高齢化が一段と進みました。

(7) 年間整備要員給与

年間整備要員平均給与（自家除く）は3,794千円となり、前年と比較すると1.4%の減少となっています。

- 注) 1. 専業とは、自動車整備の売上高が総売上高の50%をこえる事業場（ディーラーを除く）。
2. 兼業とは、兼業部門（自動車販売、部品用品販売、保険、石油販売等）の売上高が総売上高の50%以上を占める事業場（ディーラーを除く）。
3. ディーラーとは、自動車製造会社又は国内一手卸売販売会社と特約販売店契約を結んでいる企業の事業場。
4. 自家とは、主として自企業が保有する車両の整備を行っている事業場。